ペンシルロケットから50年を迎えて

平成１７年4月１３日
独立行政法人宇宙航空研究開発機構
執行役　的川　泰宣

AVSA 研究会

Avionics and Supersonic Aerodynamics

1953.10　経団連の糸川講演
1953.12　準備会議
1954.2.5　AVSA誕生
1954.2.6　戸田康明の武豊行き

糸川　英夫

永田　　武

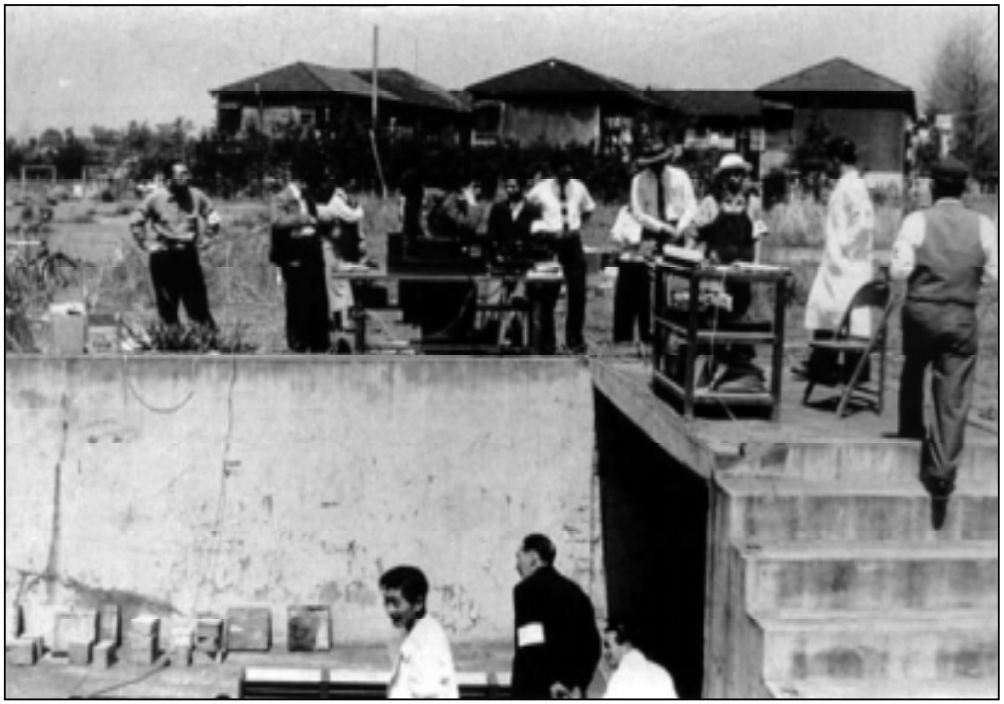
1954.3 ローマ

岡野　　澄

1954FY　　AVSAの研究費60万円、　　文部省科研費40万円、
通産省工業試験研究費230万円　＋　富士精密自身の230万円

計 560万円

国分寺の新中央工業

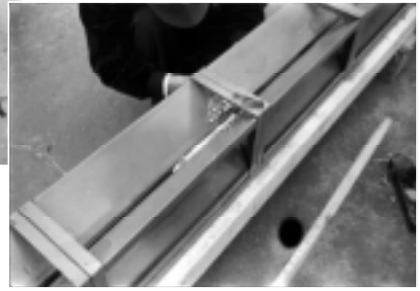


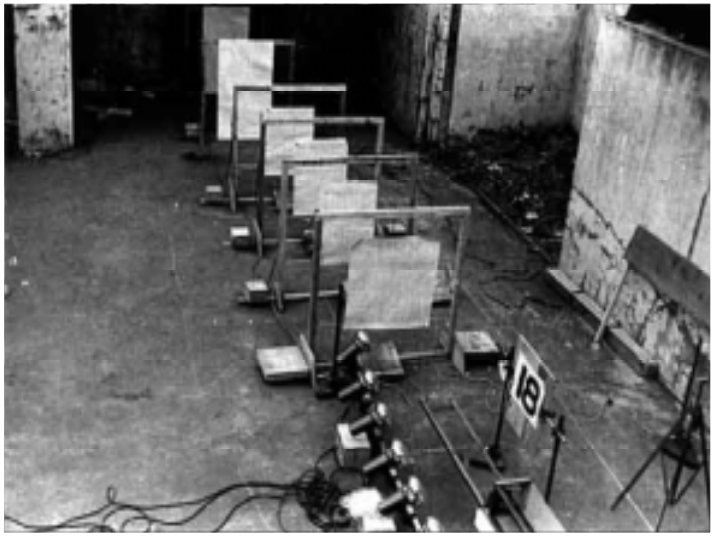
1955.2 → 3.11 → 4.12(3機)18(5機)
13(6機)19(2機)
14(6機)23(7機)

糸川、戸田、吉山

合計29 機

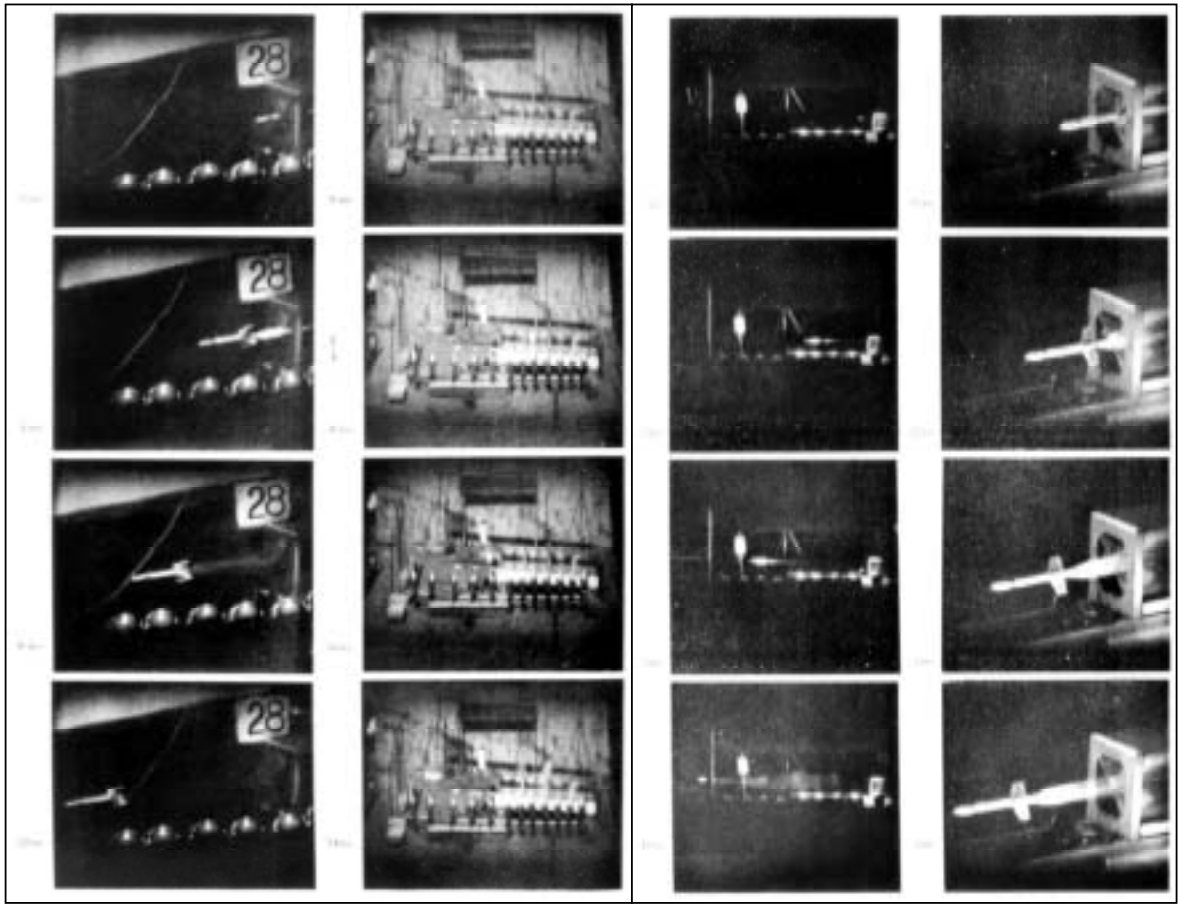
実験準備





水平発射

1955.4.12



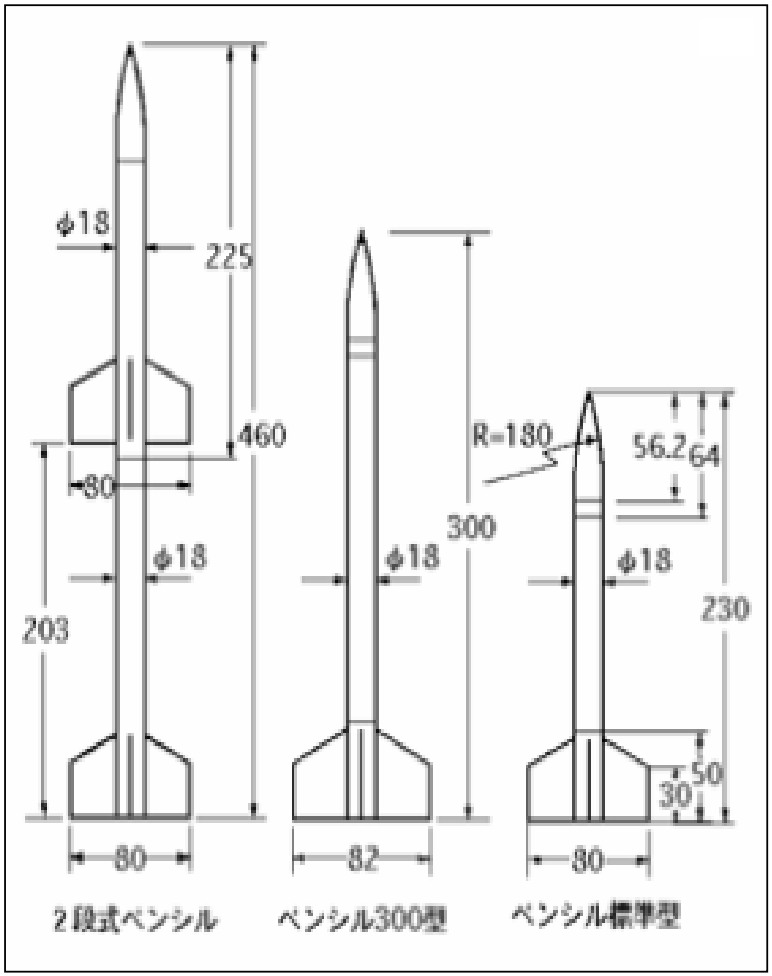
推力 30 kg
燃焼時間 0.1**秒**
最高速度 140 m/s

千葉生研

船舶水槽

開発体制の創造

2段式ペンシルのランチャ



道川の発射場
(秋田ロケット実験場：Akita Rocket Range)

佐渡から
男鹿半島へ
そして道川へ

道川の実験

1955. 8. 6

230 g のペンシル
400 t の巡視船

到達高度 600 m
水平距離 700 m
飛翔時間 16.8 s

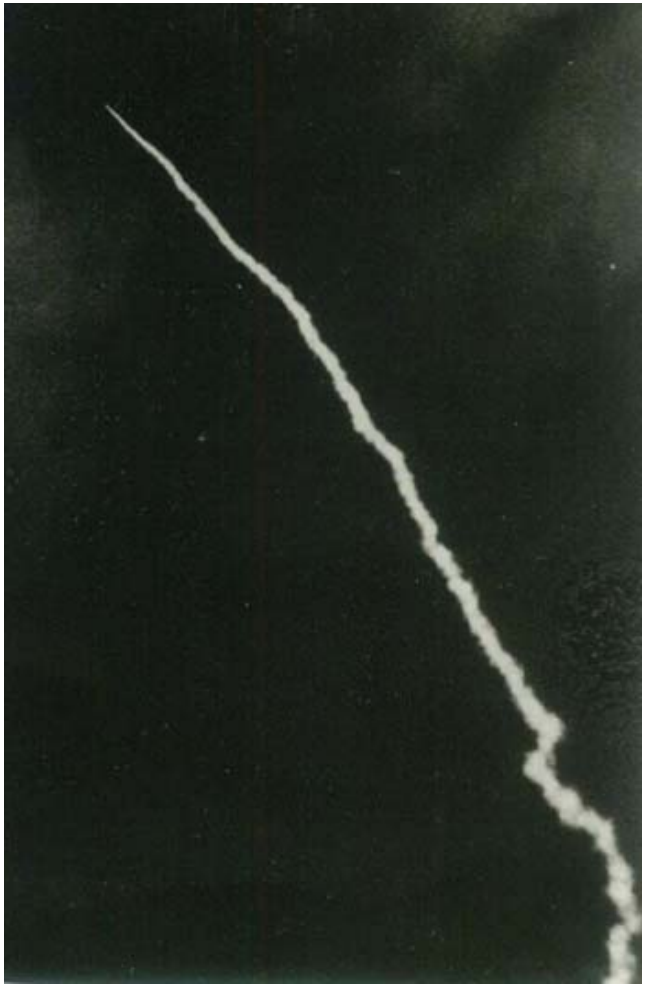
夏海の　まばやきをまへに　初火矢を

揚げむとすれば　波は寄る音

ベビー

S, T, R

外径 8 cm 長さ 120 cm 重さ 10 kg



空高く 想ひはるけし 秋の海